

unifv

東日本ユニオンNIIGATA

<http://niigatachihon.yukigesho.com/>



2021年4月30日発行

第35号 (通巻498号)

JR東日本労働組合新潟地方本部
発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

2021夏季手当シリーズ①



黒字実現の起爆剤となる夏季手当を勝ち取ろう!

4月28日2020年度期末決算について会社はプレス発表しました。会社発足以降初めてとなる赤字決算となり、働く私たち労働者の賃金にも大きく影響した1年となりました。夏季・年末手当は減額され、定期昇給もこれまでの半分となる係数2となりました。将来退職金にまで関わる事柄であり、将来設計も考え直さなくてはならない可能性もあります。

赤字決算であるから仕方がないのか?

賃金昇給が半分になることや、期末手当が減らされるのは赤字決算であれば仕方がないのでしょうか?赤字であれば全ての支出を抑えるかと言えばそうではありません。会社はこれまで労働組合との団体交渉において必要な投資は赤字下においても実施することを明らかにしています。2021年度設備投資額は単体で5510億円計画しています。黒字回復に向けて必要な投資を行うことを否定している訳ではありません。設備投資と同等に働く私たちにも投資を行うべきと主張しているのです。

社員の生活に安心・安定を創りだそう!

2021年度通期連結業績予想では対前々年では減益ですが黒字を見込んでおり、社長会見においても今年度の黒字化に言及しています。その実現のためには社員一人ひとりの安全安定輸送と質の高いサービス提供が不可欠です。コロナ禍と昨年度各手当の減額による将来への不安を払拭するためにも、全社員が黒字化実現に向けて奮闘する起爆剤となる夏季手当交渉を職場からの取り組みで実現しましょう!
夏季手当交渉は労働組合でしかできません!東日本ユニオンに加入して、共に社員と家族の幸せを創りだしましょう!



東日本ユニオンに加入して明るい将来を実現しよう!